

三世一身の法さんぜいつしんほう

太政官だいじょうかんが天皇に上申した。「このごろ人民が次第に増え、（口分田くぶんでんに充あてる）田地でんちがせまくなっています。希望してお願ひしますには、天下に奨励しょうれいして田地かいこんを開墾かいこんさせたいと思います。新たに（用水用の）溝・池みぞを造つくって開墾する者があれば、（面積の）多少にかかわらず、（開墾した田を）あたえて三世代まで相続させましょう。もし既存きそんの溝・池を利用した場合は、本人一代にかぎりあたたえましょう。」